

令和5年 第2回定例会

# 一般質問文書表

稲城市議会

通告番号	氏名	質問項目 (19人、66項目)	備考
1	山岸 太一	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 必要な人が必要なサービスを利用できる介護保険制度にむけて</li> <li>2 学校給食費無償化で全ての子どもたちに安心な給食を</li> <li>3 統一教会から市民を守る早急な対策実施について</li> <li>4 子どもたちにもう1人の保育士を～保育士配置基準の増員について</li> <li>5 住み続けられる平尾団地にしていくための買い物拠点の整備について</li> </ol>	
2	つのだ 寛美	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人と動物の共生社会について</li> <li>2 どなたでも安全に安心してご利用できる優しい街づくりについて</li> <li>3 稲城市出産・子育て応援事業について</li> <li>4 小学校の児童への登校時間の対応について</li> <li>5 バス等による利便性の向上について</li> <li>6 マンションの適正管理の推進について</li> </ol>	
3	坂田たけふみ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 プラスチックごみの収集について</li> <li>2 自転車のまち稲城におけるシェアサイクル事業について</li> <li>3 庁用自動車や消防自動車へのドライブレコーダーの設置について</li> </ol>	
4	川村 あや	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 選挙の投票率を上げる取り組みについて</li> <li>2 学校における生徒の授業サポートについて</li> <li>3 ICTを活用した市民サービスの向上について</li> </ol>	
5	池田 英司	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市内の公園に健康遊具を設置することについて</li> <li>2 多摩ロードレースについて</li> <li>3 姉妹友好都市との交流について</li> </ol>	
6	角田 政信	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域社会の立て直しについて</li> <li>2 婚活事業について</li> <li>3 コロナの感染防止に使用されたアクリル板について</li> </ol>	
7	中島 健介	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ふるさと納税について</li> <li>2 稲城市の外国人観光客について</li> </ol>	
8	湯谷 ひろし	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市内小・中学校の特別教室等の空調設備について</li> <li>2 幅広い世代が安全で安心して遊べる公園整備について</li> <li>3 稲城長沼駅・南多摩駅等の歩道における安全対策について</li> <li>4 稲城市における自転車事故防止のための安全対策について</li> </ol>	
9	梶浦 みさこ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 複業・副業の民間人材の市行政事務への活用・登用について</li> <li>2 ChatGPTなど生成AIの市行政事務への活用について</li> <li>3 コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入・設置と取り組みについて</li> </ol>	
10	岩佐 ゆきひろ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自治会の支援について</li> <li>2 小中学校の校庭の安全管理について</li> <li>3 稲城市の地価公示価格について</li> </ol>	
11	村上 洋子	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ヤングケアラー、若者ケアラーの支援強化と実態調査について</li> <li>2 陽だまりヘルプ事業について</li> <li>3 困難な問題を抱える女性への支援について</li> </ol>	

12	佐藤 しんじ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 三沢川沿い遊歩道の環境整備について</li> <li>2 こども家庭庁公表の「不適切な保育」に関する調査について</li> <li>3 物価高騰対策について</li> </ul>	
13	土居 のりひろ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 本郷根方通りの交通課題について</li> <li>2 駅周辺の賑わい創出について</li> <li>3 稲城榎戸土地区画整理事業について</li> <li>4 カーボンニュートラル都市実現に向けて</li> <li>5 稲城市における国旗の掲揚並びに国歌斉唱について</li> </ul>	
14	武田 まさひと	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 自転車のヘルメット着用の努力義務について</li> <li>2 稲城市立病院に昨年末設置された病室のWi-Fiについて</li> <li>3 マイナンバーカードおよびマイナ保険証について</li> </ul>	
15	岡田 まなぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 気候変動対策の推進について</li> <li>2 国民健康保険税の値上げを抑える取り組み、子どもの均等割の廃止について</li> <li>3 若葉台駅、京王よみうりランド駅のエスカレーター設置、ホームドア設置等について</li> <li>4 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行について</li> </ul>	
16	田島 きく子	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 生理の貧困について</li> <li>2 自転車の安全利用について</li> <li>3 補聴器購入費助成事業について</li> <li>4 プラスチックごみ収集の現状と、市民の負担軽減について</li> </ul>	
17	いそむらあきこ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 公民連携の取組みについて</li> <li>2 日本語を母語としない子どもたちへの支援について</li> <li>3 誰一人取り残されない不登校支援について</li> <li>4 自転車用ヘルメットの購入費補助について</li> </ul>	
18	榎本 久春	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 坂浜地域の交差点付近の交通課題や歩行者への配慮について</li> <li>2 介護保険のサービスを利用する場合に重要な役割を果たしている介護認定審査会について</li> </ul>	
19	鈴木 誠	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 いなぎ防災マップについて</li> <li>2 文化活動可能な施設の運営形態と契約、並びに老朽化対応について</li> <li>3 『メカニカルキャラクター大河原賞』の一大ブランド化について</li> </ul>	

通告番号	会 派 名	氏 名
1	日本共産党	山岸太一

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>必要な人が必要なサービスを利用できる介護保険制度にむけて 第9期稲城市介護保険事業計画の概要が少しずつ明らかになってきました。高齢者の生活と権利を守り、必要な人が必要なサービスを利用できる介護保険制度にしていくことを求める立場から質問します。</p> <p>(1) サービス利用料の値上げについて ①現在の利用者負担割合が2割および3割の人の、それぞれの人数と全体に占める割合について聞きます。 ②国の審議会において「利用者負担（2割負担）の見直し」については、どのような検討がされているのか聞きます。</p> <p>(2) 第9期介護保険事業計画について ①第9期計画の国の基本指針における「基本的考え方」と「見直しのポイント（案）」について聞きます。</p>	
2	<p>学校給食費無償化で全ての子どもたちに安心な給食を 学校給食費の無償化が広がり、国も検討事項としてあげています。給食の地産地消を推進し、質の向上をめざす観点からも学校給食費の無償化を求める立場から質問します。</p> <p>(1) 学校給食費の値上げとその後の対応について ①令和4年度当初予算および令和5年度当初予算における、ひと月当たりの学校給食費とその差額について聞きます。 ②現在のひと月当たりの学校給食費について聞きます。</p> <p>(2) 学校給食費の無償化について ①東京都内の区市町村において、自治体独自の制度として学校給食費の無償化や一部無償化を行っている状況について聞きます。 ②学校給食費の保護者負担額の無償化や軽減のために、市として補助をしていくことについて市長の認識を聞きます。</p>	市長答弁を 求める

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>統一協会から市民を守る早急な対策実施について 統一協会（世界平和統一家庭連合・旧統一教会）による多摩地域への進出について、市民から不安の声が寄せられています。稲城市としても早急な対策を講じることを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 統一協会が多摩市や府中市で土地や建物の購入していることについて、市としての把握状況を聞きます。</p> <p>(2) 統一教会や関連団体、またその関係者が市の施設を利用してセミナーや学習会を開催することについて認識を聞きます。</p> <p>(3) 違法不法行為を繰り返す統一協会から、市民を守っていくことについて市長の認識を聞きます。</p>	市長答弁を 求める
4	<p>子どもたちにもう1人の保育士を～保育士配置基準の増員について 保育士1人あたりがみてよい子どもの数を定めた国の配置基準の増員を求める声が、保育現場などからあがっています。子どもたちのために保育士を増やして、安全な保育環境をつくっていくことを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 保育所等における不適切事案について ①「令和5年5月『保育所等における虐待等の不適切な保育への対応等に関する実態調査』の調査結果について」で述べられている、「実態調査の概要」と「不適切な保育が疑われるとして事実確認を行った件数」の内容について聞きます。</p> <p>②令和5年5月12日付「昨年来の保育所等における不適切事案を踏まえた今後の対策について」で述べられている、4項目の対策について聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
5	<p>(2) 保育士の配置基準について</p> <p>① 0歳～5歳までの国の保育士配置基準について聞きます。</p> <p>② 稲城市における国の配置基準との違いについて聞きます。</p> <p>(3) 保育士の処遇改善と配置基準の増員について</p> <p>① 令和5年3月31日付「こども・子育て政策の強化について(試案)」の中の「幼児教育・保育の質の向上」で述べられている内容について聞きます。</p> <p>② 保育士の処遇改善と安全な職員配置のために、市として保育事業者へ財政支援を継続し拡充していくことについて認識を聞きます。</p> <p>住み続けられる平尾団地にしていくための買い物拠点の整備について</p> <p>これまで、平尾団地商店街の買い物拠点の整備をたびたび求めてきました。住民から根強い要望のある常設の買い物拠点の開設を求める立場から質問します。</p> <p>(1) 団地商店街駐車場で行われている工事の内容と目的について聞きます。</p> <p>(2) 旧スーパーヤマザキ跡地への買い物拠点の誘致状況について聞きます。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
2	公 明 党	つ の じ 寛 美

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>人と動物の共生社会について</p> <p>公明党は、生命尊厳が第一という観点から、人と動物の共生社会の実現を目指し、対策を推進してきました。命の大切さを実感できる教育の一環です。</p> <p>(1) 学校飼育動物事業の推進について伺います。</p> <p>(2) 現状と課題について伺います。</p> <p>(3) 今後の取り組みについて伺います。</p>	
2	<p>どなたでも安全に安心してご利用できる優しい街づくりについて</p> <p>目の不自由な方が、稲城駅周辺において困っている姿を見て、声をかけて誘導した事を踏まえて、視覚障害者誘導用ブロックなどで、分かりやすく優しい街づくりをするべきだと私は思います。</p> <p>今後、稲城駅周辺の新たな街づくりを検討するにあたり、どなたでも安全に安心してご利用できる優しい街づくりを取り入れるべきだと考えます。</p> <p>(1) 市の見解を伺います。</p>	
3	<p>稲城市出産・子育て応援事業について</p> <p>国の令和4年度第二次補正予算で、出産・子育て応援交付金事業が成立致しました。また、公明党の子育て応援トータルプランが昨年発表されて、一つずつ着実に実現に向けて進んでいます。</p> <p>(1) 改めて概要について伺います。</p> <p>(2) 東京都の広域連携事業について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>小学校の児童への登校時間の対応について</p> <p>共働きの核家族が増える中、小学校低学年の登校時間を早めてほしいとの声があります。公明党の都議会議員にも問題提起をしているところです。</p> <p>放課後の居場所づくりなどは、手厚くされていますが、登校時の児童の安全対策も必要であると考えます。</p> <p>(1)市の見解を伺います。</p>	
5	<p>iバス等による利便性の向上について</p> <p>iバスは、平成14年から運行しており、路線バスを補完するコミュニティバスとして、交通弱者の社会参加や、交通不便地域の解消等を主な目的としています。高齢者が増えている稲城市にとってiバスや路線バスの拡充は、その重要課題の一つと考えます。</p> <p>(1)平尾地域では、スーパーヤマザキが閉店したことにより、ソコラでの買い物客が増加しています。平尾からソコラにiバスで向かう場合には、ソコラ付近にバス停がございますが、ソコラから平尾に帰る際には、ソコラ付近にはiバスのバス停がないため、買い物後の重い荷物を持って稲城第二中学校前バス停まで歩かないといけません。平尾の方々からはiバスによるソコラへの移動の利便性を向上させてほしいとの多くの声があります。市の見解を伺います。</p> <p>(2)平尾地域の方々から稲城市立病院の往復路線である、小田急バス稲城市立病院行について、</p>	



項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	以前より便数が減り、利便性が低下していると伺っております。市の見解を伺います。	
	(3)平尾地域の高齢者の方々から、iバスの行き先が分かりづらく不安だとの声を伺います。改正される際は、改善をすべきと考えます。市の見解を伺います。	
6	<p>マンションの適正管理の推進について</p> <p>高度経済成長期に増え始めたマンションは、令和3年末現在、全国に約686万戸あり、このうち、築40年を超えるものは、約115万戸に上り、20年後には約425万戸となるなど、今後、高経年マンションが急増すると見込まれております。</p> <p>このような中、マンションの老朽化の抑制、維持管理の適正化に向け、公明党が関係団体と意見交換を重ね推進してきた結果、令和4年に「改正マンション管理適正化法」が施行され、マンション管理適正化推進計画や管理計画認定制度などが創設されました。稲城市においても、市内分譲マンションの適正な管理の推進を図っていく必要があると認識しています。</p> <p>(1)稲城市における分譲マンションの戸数、築40年以上の戸数及び今後の推移について伺います。</p> <p>(2)稲城市の取り組みについて伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
3	新 政 会	坂田 たけふみ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 用
1	プラスチックごみの収集について	
	(1)令和5年4月より開始したプラスチックごみの収集状況について	
	市では、これまで柔らかいプラスチックは、燃えるごみ、硬い	
	プラスチックは、燃えないゴミとされていましたが、令和5年4月より、	
	地球規模で直面している環境問題の解決に向けて、限りある資源	
	を守り、将来世代への負担を減らし、「持続可能な社会の形成」を	
	目指すことを目的に新たに指定収集袋で収集したプラスチック	
	ごみは、焼却しないリサイクル事業に取り組んでいます。	
	そのような中、月々のプラスチックごみの収集量とごみ収集量の	
	変化として、令和5年4月、5月の燃えるごみ・燃えないゴミの	
	収集量、昨年度の同月との比較について伺います。	
	(2)令和5年4月より開始したプラスチックごみの収集による	
	クリーンセンター多摩川への熱回収の影響について	
	クリーンセンター多摩川では、構成市のごみを焼却した際に	
	発生した熱を、工場内での電気としての利用や余剰電力の売電、	
	また、市立病院等への高温水として利用されています。	
	4月より、構成市の稲城市及び狛江市がプラスチックごみの	
	収集開始に伴い、プラスチックごみは、国立市で積み替え保管後、	
	埼玉県の深谷市で中間処理を行い、その後、再資源化施設にて	
	プラスチック製品に再利用されており、このことにより、クリーン	
	センター多摩川へのごみの搬入量が減少したものと考えます。	
	事業開始に伴う熱回収の影響について伺います。	



項目 番号	質 問 要 旨	摘 用
2	自転車のまち稲城におけるシェアサイクル事業について	
	2021年に行われた東京2020オリンピック・パラリンピック	
	競技大会で、自転車ロードレースに稲城市内を通過するコースが	
	選ばれた事で、当日沿道には多くの市民が応援に駆け付け、	
	大変な盛り上がりだった事は記憶に新しいと思います。	
	稲城市は、これまでも多摩川河川敷の特設コースで行われる	
	稲城クロスの開催や、サイクリングマップの作成、サイクルカフェの	
	設置など「自転車のまち稲城」として様々な事業に取り組んでおり、	
	連日市内外から多くのサイクリストが訪れております。そうした中、	
	シェアサイクル事業も広く周知され、観光目的の利用や、市民の	
	足として、多くの方々に利用されてきております。	
	(1)シェアサイクル事業については、平成30年度から取り組み、	
	多くの市民及び市外の方が利用されておりますが、令和4年度	
	までのシェアサイクルステーションの設置数について伺います。	
	また、設置場所についてどのような方針で行ってきたのか	
	伺います。	
	(2)シェアサイクルステーションを利用するにあたり、利用しにくい	
	という声も聞いておりますが、利用方法について伺います。	
	(3)令和5年4月より、ヘルメットの着用が努力義務となりましたが、	
	ヘルメットの着用を含め、安全面への周知について伺います。	



通告番号	会派名	氏名
4	稲志会	川村あや

項目番号	質問要旨	摘要
1	選挙の投票率を上げる取り組みについて	
	<p>本年、4月23日に投開票の稲城市長選挙および稲城市議会議員選挙の有権者数は、前回に比べて555人増え、投票率は49.75%と1.15%減少していました。</p> <p>稲城市だけではなく、全国の市区町村で投票率は減少傾向であります。</p> <p>総務省が行ったアンケート調査から、政治への関心の低下・若者の選挙離れが主な要因として挙がっていますが、バランスの良い政策立案および市政運営をしていく為にも幅広い年齢層での投票率の向上が重要であると考えことから質問させていただきます。</p>	
	<p>(1) 選挙の投票率について</p> <p>① 過去3回の状況について</p> <p>② 年代別の投票率について</p>	
	<p>(2) 期日前投票について</p> <p>① 過去3回の状況について</p> <p>② 年代別の投票率について</p>	
	<p>(3) 投票率アップの取り組みについて</p> <p>① 投票所での取り組みについて</p> <p>② 期日前投票所での取り組みについて</p> <p>③ 投票権のない年代への取り組み(意識づけ)について</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>学校における生徒の授業サポートについて</p>	
	<p>現在、市内小学校には、教育現場の指導者としていらっしゃる先生方の他に、教育補助員・特別支援指導補助員、算数補助指導員という方々が、授業のサポートをする為に配置されています。</p> <p>教員免許等の有資格者である教育補助員、資格を必要としない特別支援指導補助員・算数補助指導員（1～2年生）です。</p> <p>基本的に各学校1名ずつ配置との事ですが、多学年を対象とし、しかも月曜日から金曜日まで1人の補助員だけでは手も目も不十分であると考えことから質問させていただきます。</p>	
	<p>(1) 現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①現在の配置校および人員体制について</li> <li>②人員の推移について</li> </ul>	
	<p>(2) こどもたちの学力状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①過去5年間（コロナ禍前から）の学力調査について</li> <li>②指導の取り組み方について</li> </ul>	
	<p>(3) 増員について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①市の考えについて</li> <li>②今後について</li> </ul>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>ICT を活用した市民サービスの向上について</p> <p>令和4年第2回定例会では「市民サービスの向上“書かない窓口”導入について」令和5年の第1回定例会では「情報の見える化で市民生活の利便性向上を図ることについて」の質問をさせていただきました。</p> <p>今回も引き続き、市民サービスの向上を求め、質問させていただきます。</p> <p>(1) 市のオンラインサービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①現状について</li> <li>②今後について</li> </ul> <p>(2) スマートフォンの活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①現状について</li> <li>②今後について</li> </ul>	





項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>多摩ロードレースについて</p> <p>東京都が東京 2020 オリンピック競技大会で自転車競技ロードレースの舞台となったコースを活用した多摩ロードレースの開催を公表しました。5月26日のプレス発表で正式な名称が決まり、その名も「THE ROAD RACE TOKYO 2023」となり、ふたたびトップアスリートが多摩の街中を駆抜けた感動や記憶が再現される事になりました。</p> <p>そこで令和5年12月3日に行われるTHE ROAD RACE TOKYO 2023について伺います。</p> <p>(1) THE ROAD RACE TOKYO 2023の概要及び市の関りについて伺います</p> <p>(2) THE ROAD RACE TOKYO 2023のコース及び市内はどこを走行する予定なのか定伺います</p> <p>(3) 今後のスケジュールについて伺います</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p data-bbox="319 241 915 286">姉妹友好都市との交流について</p> <p data-bbox="319 309 1260 725">稲城市は、平成3年に当時の女満別町と姉妹都市提携を結び、その後平成18年に合併後の大空町と改めて姉妹都市提携を締結しました。また、平成27年には相馬市及び野沢温泉村と友好都市協定、そして令和3年にはアメリカ合衆国カリフォルニア州サンマテオ郡フォスターシティ市と姉妹都市提携を締結しております。</p> <p data-bbox="319 748 1260 913">そのような中、海外姉妹都市のフォスターシティ市との交流も進んでいるところですが、現在までの進捗状況について伺います。</p> <p data-bbox="319 1003 1229 1106">(1) 令和4年度までのフォスターシティ市との市民交流の実績について伺います</p> <p data-bbox="319 1196 1229 1285">(2) 令和5年度の市民交流の予定について伺います</p> <p data-bbox="319 1375 1229 1464">(3) 今後の市民交流についての考え方について伺います</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
6	新 政 会	角 田 政 信

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>地域社会の立て直しについて</p> <p>3年余り続いたコロナ禍により、地域社会は、かなりのダメージを負いました。5月8日に5類に引き下げる等ようやく出口が見えてきた今、改めて地域社会の立て直しを計り、アフターコロナの新たな施策、提案が必要になってくると思います。</p> <p>(1) 不登校問題について</p> <p>コロナ禍により全国の小中学生の不登校は21年度に24万4940人と過去最多を更新しました。</p> <p>①稲城市の小中学生の不登校の状況について伺います。</p> <p>②その主な要因について伺います。</p> <p>(2) 高齢者の引きこもりについて</p> <p>長く続いた外出自粛により、自宅に引き込みがちな高齢者が増たのではないかと心配です。稲城市の高齢者の現状について伺います。</p>	
2	<p>婚活事業について</p> <p>今から50年前の1973年の出生数は、209万1983人に対し、2022年の出生数は、過去最少の79万9728人となり、80万人を割ってしまいました。その主な要因の一つに結婚をしなくなった事が挙げられます。</p> <p>(1) 人と人との出会いとなる婚活事業について</p> <p>市では、平成26年度から婚活事業に取り組んできましたが、令和4年度からは、新たに婚活事業を稲城市、府中市、国立市、狛江市で広域連携事業として取り組んでおります。そこでこの広域連携事業として取り組む「婚活事業について」伺います。</p>	

項目 番号		摘 要
	①本市の婚活事業についての目的について伺います。	
	②広域連携で行うことの目的について伺います。	
	③令和4年度の広域連携事業として行った婚活事業の実績について伺います。	
3	コロナの感染防止に使用されたアクリル板について	
	(1)アクリル板の回収及び再資源化について	
	市内全域に於いて、不要となったアクリル板等の回収及び、再	
	資源化を市が率先して行うべきと考えます。市の認識について伺	
	います。	
	(2)アクリル板の再利用について	
	市内、小中学校の教材として、是非利活用することも検討してい	
	ただきたい。市の考えを伺います。	

通告番号	会派名	氏名
7	稲志会	中島 健介

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>ふるさと納税について</p> <p>稲城市は2040年頃まで人口が増える一方で、その後は緩やかに少子高齢化が進むと予測をされています。</p> <p>そうした状況を鑑みると、20年後には稲城市の貴重な財源である市税が徐々に減少へ転じてしまう恐れがあります。</p> <p>人口が増えている今だからこそ、将来の市税の減少を食い止め、さらにはこれからの稲城市の財政力を高めるための取り組みが急務であります。</p> <p>他方で、年々増え続けるふるさと納税の赤字は、稲城市の財源の流出と同義であり、早急に赤字の増加に歯止めをかけ、更には黒字化を目指すことは、稲城市の財政力を高める上で、非常に重要であります。</p> <p>まだ出品されていない稲城市の魅力あふれる商品を返礼品として出品し商品数を充実させるとともに、広報活動にも、より力を入れることで稲城市と市内事業所のPRにも繋がると考えています。</p> <p>そこで、稲城市のふるさと納税の現状、類似市の状況、課題や今後の取り組みについて質問させていただきます。</p>	
	(1) ふるさと納税の現状について	
	① 稲城市のふるさと納税の直近納税額と件数について	
	② 稲城市の過去3年間の年毎の納税額と件数、商品構成の推移について	



項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>稲城市の外国人観光客について</p> <p>観光庁の統計によると、訪日外国人旅行者数は2020年以降、新型コロナウイルスの影響で大幅に減少に転じてしまいましたが、2019年には3100万人以上を記録し、また、今年3月の訪日外国人旅行者数が約181万人に達し、新型コロナウイルス感染拡大前の令和元年同月比65.8%まで回復したとの発表がありました。</p> <p>今後再び、外国人の方々が日本を訪れ、様々な消費をすることが予想されます。</p> <p>ジャイアンツタウン構想を控え、この機会を逃すことなく、訪日外国人受け入れ体制を更に整えることで、稲城市の商工業・農業の振興などにつながると考えています。</p> <p>また、7月には姉妹都市を締結したフォスターシティ市が、来稲すると伺っております。フォスターシティ市の皆様へのおもてなしプランを今後來稲される他の外国人観光客の方々にも転用できるのではないかと考えています。</p> <p>そこで、稲城市の外国人観光客受け入れ環境の現状、稲城市の観光業における強み、弱みを伺うとともに、広報活動や今後の取り組みについて見解を伺います。</p>	
	(1) 訪日外国人観光客について	
	①東京に来られる訪日外国人観光客数について	
	②稲城市に来られる訪日外国人観光客数について	
	③稲城市の外国人観光客の受け入れの見解について	



	(2) 稲城市の観光業について	
	① 訪日外国人観光客が日本を訪れる際に、観光客が期待していることについて	
	② 稲城市の観光における強みについて	
	③ 稲城市の観光における弱みについて	
	(3) 稲城市の外国人観光客向けの取り組みについて	
	① 今後フォスターシティ市が稲城市に来られることも含めて、稲城市の外国人観光客受け入れに向けた取り組みの現状について	
	② 稲城市の外国人観光客向けの広報活動の現状について	
	(4) 稲城市周辺の自治体との観光分野における連携について	

通告番号	会派名	氏名
8	公明党	湯谷 ひろし

項目番号	質問要旨	摘要
1	市内小・中学校の特別教室等の空調設備について	
	市内の小・中学校の図工室・美術室・家庭科教室など特別教室の空調設備に関しては、大切な未来を担う小・中学生や教員にとって快適に過ごせるよう環境を整えることが重要であると考えます。特に教室内においての熱中症予防対策なども検討していく必要があります。そこで以下について伺います。	
	(1)特別教室の空調設備の現状について	
	(2)学級数が増える場合の対応について	
	①学級数が増える見込みの小・中学校の有無について	
	②学級数が増える場合の空調設備の準備について	
	(3)今後の小・中学校建替えにおける特別教室の空調設備設置について	
2	幅広い世代が安全で安心して遊べる公園整備について	
	市内の公園におきましては、遊具の老朽化に伴い地域の要望を反映させて改修整備を進めていくべきだと考えます。幅広い世代が安全で安心して利用できるあそび場を念頭に置いた公園整備に期待を致します。そこで以下について伺います。	
	(1)保育園児が利用できる、大丸げんき公園のすべり台設置について	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	①大丸げんき公園における遊具選定の経緯について	
	②大丸げんき公園の未就学児向けすべり台の設置について	
	(2)市内の健康遊具の設置について	
3	稲城長沼駅・南多摩駅等の歩道における安全対策について	
	稲城市は、良好な住み良い環境づくりと公共施設の整備・	
	改善を図るため土地区画整理事業を推進しています。	
	現在、稲城長沼駅や南多摩駅周辺地区では駅前広場の整備が	
	進められていますが、完成までに時間を要します。	
	先日、駅前の歩道に水溜りができ、歩行に支障をきたして	
	いました。関係部署に連絡したところ、直ぐに現場を確認し、	
	補修工事を行っていただきました。	
	駅は、通勤や通学、買い物等で多くの市民が利用する場所	
	ですので、更なる歩行者等に配慮した安全対策が必要である	
	と考えます。そこで以下について伺います。	
	(1)現状に対する市の見解について	
	(2)今後の取り組みについて	
4	稲城市における自転車事故防止のための安全対策について	
	令和5年4月から道路交通法が改正され、自転車ヘルメット	
	着用が全年齢で努力義務化されました。また、5月には春の	
	「全国交通安全運動」が5月11日から20日までの10日間	
	実施されております。	
	「自転車のまち稲城」を推進する稲城市における自転車事故	
	防止のための安全対策について伺います。	



通告番号	会派名	氏名
9	無所属	梶浦みさこ

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>複業・副業の民間人材の市行政事務への活用・登用について</p> <p>持続可能なまちづくりや賑わいの創出、行政課題の解決など、民間で培われた専門的な見識・先進情報や技能を活かしていただく複業・副業人材の市行政事務への活用・登用について伺います。</p> <p>(1)民間複業人材について</p> <p>令和5年4月26日、稲城市が民間企業と連携し、行政へ複業人材を登用する実証実験を開始したとのこととあります。その概要について伺います。</p> <p>(2)副業ではなく複業の人材登用について</p> <p>副業ではなく複業の人材を登用することとなった背景と経過、理由について伺います。</p> <p>(3)複業人材の公募・採用について</p> <p>4月26日に公表された複業人材の公募は、4月26日募集開始、5月10日公募締切とのこととありました。複業人材の公募・採用について、その要項や採用方法など、登用基準や採用手続きをについて伺います。</p> <p>(4)複業人材「地域活性化アドバイザー」について</p> <p>複業人材「地域活性化アドバイザー」の業務内容、勤務形態、報酬・期間等について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(5)今後の複業・副業人材の活用・登用について</p> <p>民間で培われた専門的な見識、先進的で有益な情報や技能など、持続可能な稲城市のまちづくりに寄与する複業・副業人材について、今後の活用・登用について伺います。</p>	
2	<p>ChatGPT など生成 AI の市行政事務への活用について</p> <p>「神戸市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例」が令和 5 年 5 月に改正され、生成 AI の行政利用を禁止していた神戸市は ChatGPT 等を業務で活用するにあたり、一定の制限のもと、安全に利用できる体制を整え、6 月より神戸市庁内での試行を開始するとのことです。</p> <p>安全性を確保しながら生成 AI を行政事務に活用することにより業務の効率化がさらに促進されると共に、個人情報保護など対策を講じ上で生成 AI を活用することは対面での市民対応や相談など市民と市職員の対話機会の拡充が図られ、市民サービスや接遇の向上を期待できるのではないかと考え、生成 AI の市行政事務への活用について伺います。</p>	
3	<p>コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入・設置と取り組みについて</p> <p>令和 4 年度、導入・新設された「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」について、稲城市立小中学校で学ぶ児童・生徒にとって有意義な組織として、有効な協議が図られているのか、設置とその取り組み状況・内容について伺います。</p> <p>(1)稲城市立小・中学校の学校運営協議会の導入・設置と</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	委員任命について	
	<p>学校運営協議会は教育委員会により設置され、学校の運営について一定範囲で法的な効力をもつ意思決定を行う合議制の機関とされています。その協議会の導入・設置、委員の任命について、どのように行われたのか伺います。</p>	
	<p>(2)地域教育懇談会と学校運営協議会の関係について</p> <p>稲城市独自の「地域教育懇談会」の活動を継続しながら、平行して設置された学校運営協議会との関係について伺います。</p>	
	<p>(3)各小中学校での学校運営協議会の開催状況等について</p> <p>「学校運営連絡協議会」を廃止し、新設された学校運営協議会。協議会委員の方々は一定の権限と責任をもって学校運営に参画いただくこととなりました。各小中学校での協議会開催状況とその内容について伺います。</p>	
	<p>(4)学校運営に関する基本的な方針の承認について</p> <p>教育課程の編成や学校の経営計画、学校の組織編制など、学校運営に関する基本的な方針の承認について、各小中学校の学校運営協議会での承認の状況と主な内容について伺います。</p>	
	<p>(5)教職員の任用等に関する意見を含めた学校運営協議会から教育委員会への意見について</p> <p>協議会の役割として「教職員の任用等に関して教育委員会に意見を述べることができる」「学校運営に関して教育委員会・校長に対して意見を述べることができる」となっているこ</p>	





通告番号	会 派 名	氏 名
10	改革未来の会	岩佐 ゆきひろ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>自治会の支援について</p> <p>(1) 自治会は、安全・安心に暮らせる地域づくりには、不可欠です。しかしながら、自治会加入率の減少、中心となる方々の高齢化など、様々な課題を抱えながら活動されている自治会も多い現状です。そこで下記の点について伺います。</p> <p>①市内の自治会の加入率の推移とそれに対する市の認識について伺います。</p> <p>②補助金及び助成の制度についてはどういったものがあるのか伺います。</p> <p>(2) 各年度で役員が多くが交代する自治会や管理組合では、東京都や市における新たな助成制度について全て把握ができなかったり、申し込み方法が難しく申請自体が出来なかったというケースがありました。このことから市として事業実施に伴う各種助成金の申請までを幅広く支援していく必要があると考えます。市の見解を伺います。</p>	

	<p data-bbox="185 212 987 257">2 小中学校の校庭の安全管理について</p> <p data-bbox="326 280 1246 694">(1) 杉並区の小学校で4月、校庭を走っていた児童が転倒し、地面に打ち込まれていた釘でひざを十数針縫うけがを負う事故があり、小学校が調べたところ、運動会などで目印に使われた釘やフックが544本見つかりました。そこで下記の点について伺います。</p> <p data-bbox="326 772 1246 884">① 過去に市内で同様の事故が発生したことはあるか伺います。</p> <p data-bbox="326 907 1246 1019">② 市内小中学校では、運動会等で扱う釘やフックをどう扱っているか伺います。</p> <p data-bbox="326 1097 1246 1388">(2) 杉並区はこの事件を受けて全ての区立小中学校で金属探知機を使った校庭の点検を進めていて、5月30日までに5913本の釘やフックが見つかりました。そこで市としての対応を伺います。</p>	
--	---	--



通告番号	会派名	氏名
11	無所属	村上洋子

項目番号	質問要旨	摘要
1.	<p><b>ヤングケアラー、若者ケアラーの支援強化と実態調査について</b></p> <p>ヤングケアラーへの支援については、令和2年、3年、4年と複数の議員による質問と政策提案がありました。市の取り組みの進捗状況と今後の取り組みについて確認し、確実に支援の充実・強化につなげるべきと考え質問します。</p>	
	<p>(1) ヤングケアラー・若者ケアラーについての周知啓発について</p> <p>① これまでの取り組みについて伺います。</p> <p>② 課題と今後の取り組みについて伺います。</p> <p>(2) ヤングケアラー・若者ケアラーの実態把握について</p> <p>① これまでの取り組みについて伺います。</p> <p>② 都内他自治体での実態調査の状況について伺います。</p> <p>③ 市として独自に調査を行い実態を把握すべきと考えますが市の認識を伺います。</p> <p>(3) ヤングケアラー・若者ケアラー支援の一元管理について</p> <p>① これまでの取り組みについて伺います。</p> <p>② 課題と今後の取り組みについて伺います。</p> <p>(4) ケアラー支援強化のための今後の取り組みについて</p> <p>① 教育委員会と児童福祉部門の連携について伺います。</p> <p>② 相談窓口とコーディネーターの必要性について伺います。</p> <p>③ 令和5年3月発表の「児童福祉部門と教育分野に焦点を当てた市区町村におけるヤングケアラー把握・支援の運用の手引き」の活用について伺います。</p> <p>④ 子ども基本法に則った「子ども・子育て支援事業計画」改定での取り扱いについて伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2.	<p><b>陽だまりヘルプ事業について</b></p> <p>障がいのある方の在宅でのケアが困難な時に、事前に登録をしている介助者が一時的に保護を担い、障がいのある方の緊急保護を行う「陽だまりヘルプ事業」は、在宅で暮らしている障がい者やその家族にとって心強いしくみです。</p> <p>2022年12月にこの事業の要綱が改定されましたが、その理由と内容、今後の取り組み等を確認し、利用者にとって使いやすい制度となることを願って質問を致します。</p>	
	<p>(1) 事業の概要と、この事業を開始した経緯について伺います。</p> <p>(2) 2022年の要綱の改定の内容について</p> <p>① 利用時間について伺います。</p> <p>② 利用料金について伺います。</p> <p>(3) 利用者から寄せられている意見について伺います。</p> <p>(4) 事業の今後の活用に対する市の認識を伺います。</p> <p>(5) 今後の取り組みについて</p> <p>① 事業の周知について伺います。</p> <p>② 利用者がケア登録者と知り合う機会づくりについて伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3.	<p data-bbox="326 259 1235 309"><b>困難な問題を抱える女性への支援について</b></p> <p data-bbox="326 383 1266 479">2022年5月に新法「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が成立しました。</p> <p data-bbox="326 495 1260 647">これまでと何がどのように変わるのかを明らかにし、様々な困難を抱える女性の最初の相談窓口となる自治体として体制を整える必要があると考えます。</p> <p data-bbox="326 663 1266 759">困難な問題を抱える女性に寄り添い、支援の充実がはかれることを願って質問をいたします。</p> <p data-bbox="326 891 1266 987">(1) 今回の新法制定の背景、新法の特徴、新法制定に伴う自治体への通知等について伺います。</p> <p data-bbox="326 1061 1266 1207">(2) 新法の制定を受け、市としてどのような取り組みを考えているか、現時点での認識と取り組みについて伺います。</p> <p data-bbox="326 1281 1266 1426">(3) 「男女平等推進いなぎプラン」は改定の時期であり、次期プランは新法に則り行われるべきであると考えます。この点について、市の認識について伺います。</p> <p data-bbox="326 1509 931 1547">(4) 市民への周知について伺います。</p>	

通告番号	会派名	氏名
12	公明党	佐藤しんじ

項目事項	質問要旨	摘要
1	<p>三沢川沿い遊歩道の環境整備について</p> <p>外出をして歩くことは心身共の健康に大変有効であります。とりわけ高齢者にとりましてはなおのこと重要であり、高齢化社会においてその重要性はより一層高まっています。この観点から、高齢者が外出して歩くことを促進する為の環境整備が必要です。その一環として、三沢川沿いの遊歩道への簡易的ベンチの更なる設置や、桜の木の根上がり対策等の環境整備を求めます。</p> <p>(1)簡易的ベンチ設置について  ①設置間隔について伺います。  ②現在の設置状況について伺います。  ③更なる設置について、市の見解を伺います。</p> <p>(2)桜の木の根上がり対策について伺います。</p>	

項目 事項	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>こども家庭庁公表の「不適切な保育」に関する調査について</p> <p>こども家庭庁は5月12日、全国の認可保育所で昨年4月から12月に、園児への暴行や虐待といった「不適切な保育」が計914件確認されたとする調査結果を公表しました。調査は全ての市区町村を対象に実施され、対象期間に市区町村が「不適切な保育が疑われる」として保育所に事実確認をしたのは1492件あり、914件が認定されました。大半の保育現場では、子どもを預かる責任の重さを受け止め真摯に子どもに寄り添っています。しかし一方で、調査で明るみになった事態は深刻であり、再発防止策、未然防止策の徹底が不可欠であります。</p> <p>(1)「不適切な保育」の定義について伺います。</p> <p>(2)調査結果を踏まえたガイドラインや対策の内容について伺います。</p> <p>(3)この調査結果について、市の見解を伺います。</p> <p>(4)市の今後の取り組みについて伺います。</p>	



項目 事項	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>物価高騰対策について</p> <p>本年3月17日、私たち公明党稲城市議団は、物価高騰対策について高橋市長に緊急要望を行いました。この要望について、既に実施いただいている取り組みもありますことを高く評価いたします。しかし、物価高騰による厳しい生活状況が続く中、この6月より電気料金も値上げとなることから、今後とも効果的な物価高騰対策が求められます。その為にも、これまで実施された市独自の物価高騰対策についての効果等を改めて確認することが重要であります。</p> <p>(1)公明党稲城市議団の緊急要望に対する物価高騰対策の実施状況について伺います。</p> <p>(2)令和4年度に実施された市独自の主な物価高騰対策において、特に効果のあった取り組みについて伺います。</p>	

通告番号	会派名	氏名
13	稲志会	土居 のりひろ

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>本郷根方通りの交通課題について</p> <p>京王よみうりランド駅から稲城駅を繋ぐ本郷根方通りは、近隣住民だけでなく他市の住民も通行する事の多い道路であり、数年前には死亡事故も発生しています。本年3月初旬には、近年設置された信号機のある交差点で車同士の事故もあり、南山から第三中学校への通学路という事情もあり、近隣住民から不安の声があがっています。</p> <p>(1)現状の認識について</p> <p>①片側が一時停止、もう片側が信号機であり、事故の発生が懸念される構造と思われますが、市としての認識と3月の事故について把握できているか伺います。</p> <p>②交通量としては本郷根方通りの方が多いたと思われるのですが、三中とリハビリテーション病院の道路に信号機を設置した経緯を伺います。</p> <p>(2)今後の対策として</p> <p>①信号機を両側に設置すれば事故のリスクは低減できると思われそうですが、警察への申し入れをしているのか伺います。</p> <p>②現状できる対策に関して、夜間でも一時停止が認識できる注意喚起などの対策に関して伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>駅周辺の賑わい創出について</p>	
	<p>稲城市には2路線6駅があり、住環境としては利便性も良く、都内へのアクセスもよい事から、駅を利用し通勤する会社員も多いまちです。駅が多い事が逆に作用してしまい、駅前の賑わいが創出しにくい環境にあるともいえます。かつて駅前にあった飲食店はコロナ禍も相まって店をたたんでしまい、駅前がより一層寂しくなったとの声をよく耳にします。4年前の市長の公約にもある通り、駅前の賑わいの創出はまちづくりを考える上で稲城市にとっての至上命題とも言えます。</p> <p>(1) 駅前の賑わい創出の為の取り組みについて</p> <p>4年前の市長公約により、市としても取り組みを行っていると思いますが、各駅周辺の商業店舗の現状をどう把握しているか伺います。</p> <p>(2) 施策の拡充及び、更なる取り組みについて</p> <p>①現状この4年間コロナ禍も相まって賑わいの創出に大変苦勞していることと存じます。現状の補助金制度の対象とする業態の拡充や、事業者にとって使いやすくする取り組みが必要であると考えます。広報の方法なども含めて現状を伺います。</p> <p>②宮崎市のマチナカ3000プロジェクトや、鎌倉市と民間企業が取り組んでいるHATSU鎌倉など、実際に成功している事例を参考に、駅周辺や稲城市内での起業や企業誘致も含めた稲城の未来、若者たちの働きやすいまちづくりに関して、市としての展望を伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>稲城榎戸土地区画整理事業について</p> <p>稲城榎戸土地区画整理事業の進捗は順調と伺っており、地域住民の協力のもと終わりが見えてきております。梨の道検討会では様々な議論があったものの、当初の計画を大きく変更するかたちで合意形成が得られたものと確認しております。今後、実際の土木工事が始まっていく上で矢野口地域の中心に位置する矢野口公園の計画について伺います。</p> <p>(1) 地域に必要とされる公園について</p> <p>①今現在、様々な事情によりボール遊びが禁止されている公園がある。ここ数年で矢野口周辺(淡雪公園・幸方公園)でもボール遊びが禁止され、子どもたちが遊べる場が少なくなりました。小学校の校庭開放は限定的であり、スポーツを通して育まれる幼子、少年・少女の健全育成の為にも、苦情がある度に遊び場が減ってしまう事についてどう考えているか伺います。</p> <p>②矢野口公園の横に矢野口自治会館があります。現状矢野口自治会館裏の公有地は地域行事に広く使用されており、地域住民のご協力のもとで除草活動をしている状況です。矢野口公園が整備されることにより、公有地としての用途の考え方、また継続した除草などの管理はどう行っていく予定なのかを伺います。</p> <p>③現状の公園整備計画では、矢野口公園は鶴川街道に面していることから、遊び方次第でボールが飛び出してしまう懸念があります。ボールの飛び出しをなくす対策を徹底しなければならない立地条件となっていますが、ボール遊びができない公園になってしまうのではないかとの声があがっております。車道に面した土地を市として有効活用し、自治会裏の土地と合わせ、矢野口地域住民、地域コミュニティの中心となるような活用法を模索しなければなりません。それに関しての現在の状況を伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>カーボンニュートラル都市実現に向けて</p> <p>令和5年度稲城市施政方針として、2050年カーボンニュートラルを目指すことを宣言し、稲城市は地方自治体として積極的な取組を推進しております。脱炭素施策としても庁用車の電気自動車化など、取り組んでいる最中のことと存じます。</p> <p>更なる取組みの一環として庁用車の更新、そして稲城市民が自動車買い替えの際に、電気自動車やプラグインハイブリット車など、環境に配慮した車両を購入していただきやすくする施策について伺います。</p> <p>(1) 環境に配慮した車両について</p> <p>①現在稲城市が所有している庁用車の車両台数、20年以上経過した車両の割合や、電気自動車への更新が完了している割合はどれくらいなのか。また、車両の更新に合わせて電気自動車を増やす予定はあるのか伺います。</p> <p>②老朽化した車両は環境面、安全面においてできるだけ早く目標を立て、環境に配慮した車両、そして運転する市職員の安全面、事故を未然に防ぐ機能を搭載した車両への置き換えが必要と考えますが、市としての考えを伺います。</p> <p>(2) 充電スタンド設置について</p> <p>稲城市としてもカーボンニュートラル実現に向けて取り組む一方、市民にも利用してもらいやすい環境を整える事も必要であると考えます。東京都内において充電スタンドが市役所に設置されてある割合と、今後市役所に充電スタンドを設置する計画はあるのかを伺います。</p> <p>(3) 電気自動車型庁用車の災害時利用について</p> <p>庁用車の電気自動車化推進の目的の一つとして、災害時の蓄電池としての考え方があります。こちらは以前に鈴木議員が令和4年第4回定例会において質疑されておりますが、災害時の運用に関しての検討は進んでいるのか伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
5	<p>稲城市における国旗の掲揚並びに国歌斉唱について</p> <p>平成11年8月の国旗・国歌法制定により、国旗は日章旗とする、国歌は君が代とすると定められ、当時の総理大臣も「国民の皆様方が日章旗の歴史や君が代の由来、歌詞などについて、より理解を深めていただくことを願い、学校教育においても国旗と国歌に対する正しい理解が促進され、我が国のみならず、他国の国旗と国歌についても尊重する教育が適切に行われることを通じて、次代を担う子供たちが国際社会で必要とされているマナーを身に付け、尊敬される日本人として成長することを期待しております」と述べられており、私も大いに同意するところであります。稲城市民は市民であると同時に日本国の国民でもあります。市に対して尊敬の念を抱くと共に、国家に対しても尊敬の念を抱く事が大切かと存じます。</p> <p>公立小中学校では入学式、卒業式において国旗の掲揚並びに国歌の斉唱が行われており、学習指導要領にも「国歌「君が代」は、いずれの学年においても歌えるよう指導すること。」とされております。</p> <p>(1) 稲城市における状況について</p> <p>①コロナ禍において斉唱する機会が減った事により、国歌を歌えない子どもが増えております。過去に教員が国歌斉唱の際に起立をしなかった問題などもあり、学習指導要領に記載があるはずの国旗、国歌に対して、歌詞や意味や国旗に関して理解が足りていない子どもたちが多数いると感じております。現状はどのように国旗、国歌について教育されているのか伺います。</p> <p>②今の時代、国旗・国歌に対して否定的な意見ができる事は少なくなっております。様々な事情があることは聞き及んでおりますが、国旗国歌の取り扱いについて大阪府や大阪市、愛知県蒲郡市のように条例として制定、北海道紋別市のように規定で定めている自治体があります。稲城市においても国旗・国歌に関して議論を進める段階に入ってもよいと個人的には感じております。国民の祝日に市役所での国旗掲揚なども含め、稲城市として国旗、国歌の取り扱いを条例に定める予定はあるのか、国旗、国歌についての考え方を伺います。</p>	<p>教育長</p> <p>市長</p>



項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>稲城市立病院に昨年末設置された病室の Wi-Fi について</p>	
	<p>令和 4 年度第 4 回定例会で一般質問をしましたが、病室 Wi-Fi の運用について安心・安全を考慮したうえで快適な入院環境を整備すべきという立場から質問をします。</p>	
	<p>(1) 令和 4 年末に各病室で Wi-Fi を利用できる様になりましたが、現在の利用状況を伺います。</p>	
	<p>(2) 病院の Wi-Fi を使うか、御自身の持込みのモバイル Wi-Fi を使うか、患者さんの選択となるという答弁がありました。持込みのモバイル Wi-Fi 利用を許可しているのかを伺います。</p>	
	<p>(3) プリペイドカード販売会社について</p>	
	<p>① テレビや病院の冷蔵庫の料金について伺います。</p>	
	<p>② Wi-Fi のプリペイドカード販売会社はテレビなどと同じ会社なのか伺います。</p>	
	<p>③ 新規設備費用、保守費用、及びインターネット接続料は稲城市立病院が負担するという認識でいいのか伺います。</p>	
	<p>④ 病室に Wi-Fi を整備している病院では無償提供が多数を占めているが、稲城市立病院では他の病院の導入例を参考にしたという答弁がありました。どこの病院なのか伺います。</p>	



項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	マイナンバーカードおよびマイナ保険証について	
	① 他人の診療情報が閲覧できるいわゆる「誤登録」が指摘されていますが、考えられる原因を伺います。	
	② 稲城市の医療機関でマイナ保険証が正しく読み込まれない場合や、機器の故障があつて本人確認ができないなどのトラブルが発生した場合の対処法について伺います。	
	(2) 施設に入所されている方や、長期入院されている方など、ご自身で申請することが困難な方について、マイナンバーカードの申請方法について伺います。	
	(3) マイナンバーカード申請後、受取のためにはご本人が窓口へ行って本人確認することが原則となっていますが、やむを得ない理由により、受取にいけない方について、マイナンバーカードの受取方法について伺います。	
	(4) マイナンバーカードやマイナ保険証の申請や交付が出来ない方への市の対応を伺います。	

通告番号	会 派 名	氏 名
15	日本共産党	岡田まなぶ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p><b>気候変動対策の推進について</b></p> <p>気候変動から地球環境を守る取り組みが最重要課題となるもと、市の取り組みを問う。</p> <p>(1) 稲城市の温室効果ガス排出抑制の基本姿勢について。</p> <p>(2) 公共施設における再生可能エネルギーの導入および普及促進について。</p> <p>(3) 省エネルギーの推進について。</p> <p>(4) 食品ロスの削減の取り組みについて。</p> <p>(5) 気候変動についての啓発、学習会、講演会等への積極的な取り組みについて、令和5年第1回定例会で「カーボンニュートラルに関する市民向け講演会等の開催を検討する」と答弁しているが検討状況は。</p>	
2	<p><b>国民健康保険税の値上げを抑える取り組み、子どもの均等割の廃止について</b></p> <p>(1) 3年間の国保の被保険者数と人口に占める割合、国保加入世帯数と市の世帯数に占める割合は。</p> <p>(2) 子どもに係る均等割保険税の廃止を求めるが認識は。</p> <p>(3) 国民健康保険の都道府県化に伴う法定外繰入の解消計画について。</p> <p>(4) 物価高騰で厳しい暮らしがつづくもとで、国民健康保険税は値上げすべきでないと考えますが認識は。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>(5) 東京都市長会は、東京都が国に国庫負担割合を引上げるよう働きかけることを求めている。高すぎる国民健康保険税のこれ以上の値上げを抑えるためにも、引き続き、国に公費負担を増やすことを求めていくべきと考えるが認識は。</p> <p><b>若葉台駅、京王よみうりランド駅のエスカレーター設置、ホームドア設置等について</b></p> <p>(1) 若葉台駅、京王よみうりランド駅のエスカレーター設置を求めるべきと考えるが認識は。</p> <p>(2) 若葉台駅、稲城駅、京王よみうりランド駅へのホームドア設置を求めるべきと考えるが認識は。</p> <p>(3) 京王相模原線、J-R南武線、市内路線バス、iバスなど、痴漢加害を抑止する公共交通機関の対策強化を求めることについて</p>	
4	<p><b>新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行について</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の法律上の分類が5月8日、季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行された。5月5日には世界保健機関（WHO）が緊急事態の終了を宣言。</p> <p>3年以上にわたったパンデミック（世界的大流行）は大きな節目を迎えているが、流行が終わったわけではない。WHOも警戒を怠らないよう呼びかけている。</p> <p>5類移行は医療支援の大幅削減、患者の負担増などの大きな問題を抱えてスタートした。市民の生命と暮らしを守る立場から質問する。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(1) 5類への移行で、市立病院で継続している内容および変更された内容は。</p> <p>(2) 5類への移行で、市内医療機関で継続している内容および変更された内容は。</p> <p>(3) 5類以降後も、政府が新型コロナからいのちを守る責任を果たしていくことが求められると考えるが認識は。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
16	日本共産党	田島きく子

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>生理の貧困について 生理用品を小中学校のトイレに常備することを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 生理用品の保健室への設置について「羞恥心や、家庭の事情を知られたくないために、保健室に行くことをためらう子どももいる」という声が市民から寄せられています。教育委員会としての把握状況と、こういった声に対する認識をききます。</p> <p>(2) 「急に生理が始まった時、10分間の休み時間に遠い保健室に生理用品を取りに行くのは無理だからやむを得ずトイレットペーパーを使ったこともある」という声も市民から寄せられました。教育委員会としての把握状況と、こういった声に対する認識をききます。</p> <p>(3) 子どもたちが生理用品にアクセスするための心理的・物理的な障壁を低くしていくことが望ましいと考えますが認識をききます。</p>	
2	<p>自転車の安全利用について 2023年4月1日に道路交通法が改正され、自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されました。自転車の安全利用について質問します。</p> <p>(1) 自転車利用のための安全対策について</p> <p>① 市が自転車の安全利用のため、これまで行ってきた対策についてききます。</p> <p>② 市内で直近5年間に起きた自転車に関係する交通事故の発生状況と事故類型の内訳についてききます。</p> <p>(2) ヘルメット着用の購入補助について</p> <p>① 東京都が公表した都民のヘルメットの着用率についてききます。</p> <p>② 東京都が新たに開始するヘルメット購入補助事業の概要についてききます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>補聴器購入費助成事業について 補聴器購入費の助成を進める立場から質問します。</p> <p>(1) 東京都の補聴器購入費助成事業の概要についてききます。</p> <p>(2) 東京都の補助事業なども活用して、市としても補聴器購入費の助成制度を作るべきだと考えますが、認識をききます。</p>	
4	<p>プラスチックごみ収集の現状と、市民の負担軽減について</p> <p>(1) プラスチックごみの収集について</p> <p>① プラスチックごみの収集について、開始後市民から寄せられている声についてききます。</p> <p>② 「プラスチックごみはかさばって置き場所に困るから、週2回の収集にしてほしい」という声が寄せられています。認識をききます。</p> <p>(2) ごみ袋代の市民の負担軽減について 市民の暮らしの負担を軽減するために、既存ゴミ袋の値下げやプラスチックごみの無料収集が必要だと考えますが認識をききます。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
17	改革未来の会	いそむら あきこ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p><b>公民連携の取組みについて</b></p> <p>少子化・超高齢化社会による生産年齢人口の減少や福祉・医療費の増加、グローバル化や技術革新による社会構造の変化、老朽化したインフラや公共施設、地域コミュニティの衰退、環境問題、自然災害など、社会や地域が直面する課題が山積する中、行政だけの経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）だけで、対応することは困難であると言えます。</p> <p>社会課題を解決していく一つの重要な要素として、公民連携の取組みは不可欠であると考え、本市の公民連携の取組みについて伺います。</p> <p>(1)公民連携の取組みについて</p> <p>①本市における公民連携の手法について伺う。</p> <p>②これまでの主な公民連携による実績について伺う。</p> <p>③公民連携のメリットデメリットについて伺う。</p> <p>(2)新たな公民連携の取組み</p> <p>「複業クラウド for Public」について</p> <p>①複業クラウド for Publicの目的と期待される効果について伺う。</p> <p>②実証実験終了後の複業クラウド for Publicの導入について認識を伺う。</p> <p>(3)先の市長選挙にて公約に掲げられていた「公民連携担当デスクの設置」について、概要と目的、期待される効果について伺う。</p> <p>(4)「公民連携」と似た用語で「公民共創」を使用する自治体も増えてきているが、「公民共創」について認識を伺う。</p>	<p>市長答弁を 求める</p>

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p data-bbox="326 259 1224 304"><b>日本語を母語としない子どもたちへの支援について</b></p> <p data-bbox="326 371 1263 647">文部科学省が令和3年5月に行った調査では、全国の公立小・中・高校などに在籍し、日本語指導が必要な児童・生徒数は5万8,353人と、平成30年の調査より7,227人増え、年々増加傾向にあります。また、平成31年4月に施行された改正出入国管理及び難民認定法により、外国人労働者が日本社会で仕事をする機会が増え、今後さらに外国にルーツを持つ子どもたちが増えることも想定されます。</p> <p data-bbox="326 663 1263 840">日本語を母語としない子どもたちのなかには、日本語での日常会話が十分にできなかったり、学習面における遅れや自己肯定感の低下など、様々な課題が懸念されます。そこで、本市における日本語を母語としない子供たちへの支援について伺います。</p> <p data-bbox="326 902 1248 983">(1) 日本語教育推進法に基づく、地方公共団体(基礎自治体)の責務について伺う。</p> <p data-bbox="326 1046 1088 1081">(2) 日本語教育の推進に関する本市の施策について伺う。</p> <p data-bbox="326 1144 1216 1225">(3) 外国人の子どもの就学の促進及び就学状況の把握の取組みについて伺う。</p> <p data-bbox="326 1288 1232 1323">(4) 小中学校での日本語を母語としない児童生徒への支援について</p> <p data-bbox="398 1339 1232 1420">①小中学校において、日本語指導を必要とする児童生徒の数と推移、母語について伺う。</p> <p data-bbox="398 1435 1224 1471">②小中学校での、日本語学習支援の現状と課題について伺う。</p> <p data-bbox="398 1487 1208 1568">③今後の小中学校での、日本語学習支援のさらなる取組みについて伺う。</p> <p data-bbox="326 1630 1248 1711">(5) 学校以外での、日本語が不自由な子どもやその家庭に対する日本語学習支援の取組みについて伺う。</p>	



項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p><b>誰一人取り残されない不登校支援について</b></p> <p>本市の不登校児童・生徒数は、令和2年度では、小学校が48人、中学校が80人、令和3年度では、小学校が54人、中学校が112人と年々増加傾向にあります。</p> <p>不登校児童・生徒の学びを保障する環境整備や不登校支援のさらなる取り組みが必要であると考え、以下について伺います。</p> <p>(1)不登校支援の現状と評価について</p> <p>①市内の不登校児童生徒の増加要因をどのように分析しているのか伺う。</p> <p>②これまでの不登校支援に関する取り組みの評価について伺う。</p> <p>(2)不登校支援の取り組みについて</p> <p>①スクールソーシャルワーカーの体制強化の取り組みについて伺う。</p> <p>②教育支援センターの支援機能等の強化の取り組みについて伺う。</p> <p>③各小中学校でのオンライン授業の実施状況と出席扱いについて伺う。</p> <p>④不登校児童生徒の給食費・教材費等の対応について伺う。</p> <p>(3)本市の不登校対策・支援を可視化する取り組みについて伺う。</p> <p>(4)発達障害等が原因で不登校となっている児童生徒の放課後等デイサービスの利用について</p> <p>①発達障害等が原因で不登校となっている児童生徒への現状の対応について伺う。</p> <p>②発達障害等が原因で不登校となっている児童生徒が放課後等デイサービスの利用を希望した場合、利用の可否について伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p data-bbox="326 264 1070 309"><b>自転車用ヘルメットの購入費補助について</b></p> <p data-bbox="326 376 1266 454">改正道路交通法の施行により、本年4月から年齢を問わず自転車に乗る全ての人にヘルメットの着用が努力義務化となりました。</p> <p data-bbox="326 472 1266 551">『自転車のまち稲城』をPRしている本市において、自転車用ヘルメットの購入費補助を検討してはどうかと考え、以下について伺います。</p> <p data-bbox="326 618 1196 696">(1) 直近での市内における、自転車事故の発生状況(自転車乗用中の死傷者・年齢層別の自転車事故件数)について伺う。</p> <p data-bbox="326 763 1266 931">(2) 本市では、第8次稲城市交通安全計画に基づき、自転車利用者に対し、ヘルメット等の交通事故の被害を軽減する器具の利用促進の取組みをされていると思うが、これまでの取組みの効果について認識を伺う。</p> <p data-bbox="326 999 1266 1077">(3) 自転車用ヘルメットのさらなる利用促進のため、購入費の補助事業を検討してはどうかと考えるが認識を伺う。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
1 8	改革未来の会	榎本 久春

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	坂浜地域の交差点付近の交通課題や歩行者への配慮について	
	<p>3月には、稲城小田良土地区画整理事業の換地処分も終了し、多くの新しい市民の皆様を迎えて、子ども達の元気な声があちらこちらと聞こえるようになり、にぎやかな地域となってきました。今後も新たな市民を迎えるにあたっては、地域の安全・安心な暮らしを支えるためには、諸課題の解決が必要と考えます。交通課題については、これまでも信号機の設置や改善をお願いし、ソコラ若葉台前交差点の信号機の設置や若葉台入口交差点の右折信号機の設置など、一定の改善が図られ安全・安心に繋がっていると市民からも声を頂いております。更なる改善が必要な場所もあることから、坂浜地域の交差点付近の交通課題や歩行者への配慮について伺います。</p>	
	(1) 坂浜信号機付近の歩行者への配慮について伺います。	
	① 天神通りから鶴川街道へ左折する路上にゼブラゾーンが設置されていますが、その理由について伺います。	
	② 鶴川街道を横断し天神通りの歩道側に水路があり、法面を改修されましたが、その理由について伺います。	
	(2) ソコラ若葉台前交差点付近の交通課題と歩道の延伸について伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	① 上平尾方面からソコラ若葉台前交差点で右折をする場合に、なかなか右折できない状況にあると聞いておりますが、市の認識について伺います。	
	② ソコラ若葉台前交差点付近で、稲城第二中学校前南側の学園通りにおける日本大学敷地内の歩道の設置については、昨年の定例会でも質問をさせて頂き、市ではこれまでも日本大学に対し繰り返し要請してきており、日本大学からは今後の土地利用を図る際に検討するとのことでした。その後、日本大学側との話し合いが行われたと聞いておりますが、その内容について伺います。	
2	介護保険のサービスを利用する場合に重要な役割を果たしている介護認定審査会について	
	<p>介護保険のサービスを利用するには、介護や日常生活に支援が必要な状態であることなどについて、要介護認定を受けることが必要です。要介護認定を受けるためには、住んでいる市町村の窓口、もしくは最寄りの地域包括支援センターに問い合わせて申請をすることが必要で、様々な機会をとらえて周知されてきたと思います。また、介護認定には期間があり、継続してサービスを受けるためには、更新審査を受ける必要があることもサービスを利用してきている方々には、認識のあるところだと思います。その、要介護認定を決定する機関が介護認定審査会であり、多職種 of 専門職の方々が、どの程度の介護が必要かを審査する会であります。その介護認定審査会では、要介護者の増加に伴い多忙になってきているともいわれており、コロナ禍においても苦慮されてきたのではないかと考えております。そこで、介護認定審査会について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	(1) 介護認定審査会の概要について伺います。	
	(2) 介護認定審査会で審査する件数について伺います。	
	① コロナ禍前の平成29年度から令和元年度までの3年間の年間審査件数について伺います。	
	② コロナ禍の令和2年度から令和4年度までの3年間の年間審査件数について伺います。	
	③ 高齢化率と要介護認定者数について、類似市との比較ができれば伺います。	
	(3) 要介護者の増加に伴い多忙になってきているともいわれており、コロナ禍においても苦慮されてきたのではないかと思います。この様なことも含め、これまでの取り組みについて伺います。	
	(4) 介護認定審査会での課題について伺います。	
	(5) 高齢化に伴う要介護認定者数増加に対する今後の取り組みについて伺います。	

通告番号	会派名	氏名
19	稲志会	鈴木 誠

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p><u>いなぎ防災マップについて</u></p> <p>稲城市において市民が身を守るために必要な事項が網羅され、地図形式から冊子形式へと変化してきた同マップであるが、</p> <p>(1) 防災マップの作成配布、活用状況について</p> <p>①防災マップを現在の形で制作するに至った経緯を伺う。</p> <p>②制作に当たって市民や関係者に対する意見収集は何か行われたか伺う。</p> <p>③これまでの総製本部数と総配布部数について伺う。</p> <p>④市内小中学校等、教育での活用状況について伺う。</p> <p>⑤稲城市ハザードマップは水防法の規定により宅地建物取引の重要説明事項に追加されているが、これに対して当該業者や市民等から意見はあったか伺う。</p> <p>(2) ハザードマップの根拠について</p> <p>①ハザードマップ（震災用）における液状化、震度分布図は何を根拠にされているか伺う。</p> <p>②多摩川洪水浸水想定区域図、三沢川流域及び鶴見川流域浸水予想区域図は何を根拠にされているか伺う。</p> <p>③ハザードマップ（風水害・土砂災害用）は何を根拠にされているか伺う。</p> <p>(3) 防災マップの更新について</p> <p>①防災マップの更新期はどのようなタイミングを考えられているか伺う。</p> <p>②実績値である昭和54年以降の市内浸水履歴と、ハザードマップの間には乖離があるように見受けられるがそうした箇所について稲城市独自に改良改編を加えることは可能であるか伺う。</p>	

2	<p><b>文化活動可能な施設の運営形態と契約、並びに老朽化対応について</b></p> <p>稲城市内には学校及び体育施設を除いて、公民館、生活文化施設、体験学習館、地域振興プラザ、iプラザ等々、文化活動が可能な施設が10拠点あるが、</p> <p>(1) 市内文化施設の運営について</p> <p>①各施設毎に運営形態・方針の違いがあるのか伺う。</p> <p>②指定管理者制度を採用している施設はどれであるか伺う。</p> <p>③施設管理者と市との取り決めはどのようになされているのか伺う。</p> <p>(2) 老朽化した施設、設備の更新について</p> <p>①上述10拠点それぞれの建築年、並びに将来的に更新が必要となる時期を伺う。</p> <p>②市民から施設及び設備について更新等の要望は出ていないか伺う。</p> <p>③特殊な設備については公平性担保の観点から利用者負担の考えがあっても良いかと考えるが、市の見解を伺う。</p>	
3	<p><b>『メカニカルキャラクター大河原賞』の一大ブランド化について</b></p> <p>先般3月に実施されたVol.10を以ってメカデザイナーズサミットは終幕し、今年度より『メカニカルキャラクター大河原賞コンテスト』という新たな形態を目指していく方針であるが、</p> <p>(1) 現時点における同賞の創設について</p> <p>①どうして賞創設に至ったのか、これまでの経緯を伺う。</p> <p>②どのような方を対象に、どのような応募内容とするつもりであるのか伺う。</p> <p>③当初予算として約400万円を事業委託費として計上しているが、どのような内訳であるのか。『賞』と称するためには当然に賞金や賞品が想定されるがこれらも含有されている認識で良いのか伺う。</p> <p>④どのような事業者運営を委託するのか伺う。</p>	

(2) 同賞を世界的登竜門にする手法について

- ①応募に関する告知、周知はどのような方法、どのような範囲でされる予定なのか伺う。
- ②メカデザインという裾野の広さを考えると、海外の方々からの応募も当然視野に入って来るが多言語対応についての考えを伺う。
- ③協力、協賛企業についてはどのように考えているか伺う。
- ④大河原先生の知名度からすれば同賞は稲城市のインバウンド、アウトバウンドの核とも出来る可能性を秘めている。運用を業者等に丸投げするのではなくその知見を市が主体となり公的に蓄積していく必要性も強いと思うが市の見解を伺う。